

- 問1 奈良時代末期に編纂された、現存する日本最古の歌集を何という？
- 問2 土地や人民を国家が支配し、法に基づいて政治を行う仕組みを何という？
- 問3 律令国家の統治体系として、中央から地方の国に派遣された役人を何という？
- 問4 遣唐使の船が日本から中国へ向かう際、多くの遭難者を出した荒れる海域を何という？
- 問5 郡司が指揮下に入っていた、中央から派遣された地方長官のことを何という？
- 問6 奈良時代の九州地方に派遣され、防衛の任務についた兵士を何という？
- 問7 『日本書紀』で、神代から歴史が記録されている最後の天皇は誰？
- 問8 聖武天皇が鎮護国家の象徴として建立を命じた、奈良にある寺院を何という？
- 問9 奈良時代、唐の文化の影響を強く受けて華やかに発展した文化を何という？
- 問10 奈良時代、聖武天皇が仏教による国家の守護を目指して、国分寺の総本山として都に建立させた寺院は何という？
- 問11 戸籍に基づいて人々に口分田を与え、死後には国に返させるという奈良時代の土地制度を何という？
- 問12 8世紀初めに編纂された、神話から推古天皇までの日本の成り立ちを記した歴史書を何という？
- 問13 遣唐使が日本へ招いた、苦難の末に来日して日本の仏教に大きな影響を与えた僧侶は誰？
- 問14 律令制下で、九州北部の守備を担当した兵士の任務を何という？
- 問15 防人として徴兵された農民たちは、主に日本のどの地方から選ばれていましたか？
- 問16 奈良時代、墾田永年私財法をきっかけに貴族や寺院が広大な土地を所有するようになった結果生まれた、私有地のことを何という？
- 問17 奈良時代の仏教文化を象徴する建造物で、西アジアの品々も収められている有名な寺院を何という？
- 問18 743年に発令され、新しく開墾した土地の永代私有を認めることで、土地の私有化を推進した法律を何という？
- 問19 正倉院で見られる、三角材を組み上げて湿気を防ぐ建築様式を何という？
- 問20 正倉院にゆかりの品々がおさめられている、奈良時代の天皇は誰？
- 問21 奈良時代の班田収授法において、政府が戸籍に基づき土地（口分田）を分け与える対象となったのは何歳以上の男女？
- 問22 律令制度において、神祇官と共に二官の一つとして行政の統括を担った機関を何という？